

2.1.4 アンカー体の荷重分散

写真 1.4.1 はくさび型アンカー体の定着状況であり，拘束具（くさび）が作動することで均等に周辺地盤へ圧縮力をもたらし，地盤反力に応じた高い摩擦抵抗を確保することができる（写真 1.4.2）。

荷重分散効果は現地試験等で確認されており，くさび型（図 1.4.2）は摩擦（圧縮）型（図 1.4.1）に比べ，定着地盤に作用する応力が小さく，かつ分散されている。

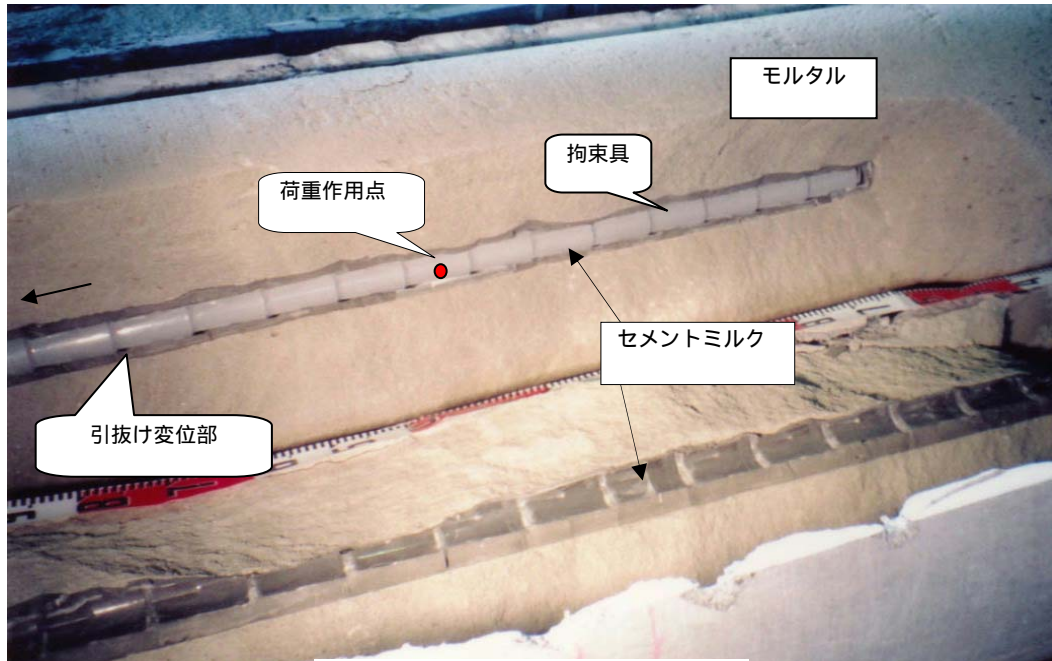


写真 1.4.1 アンカー体定着状況

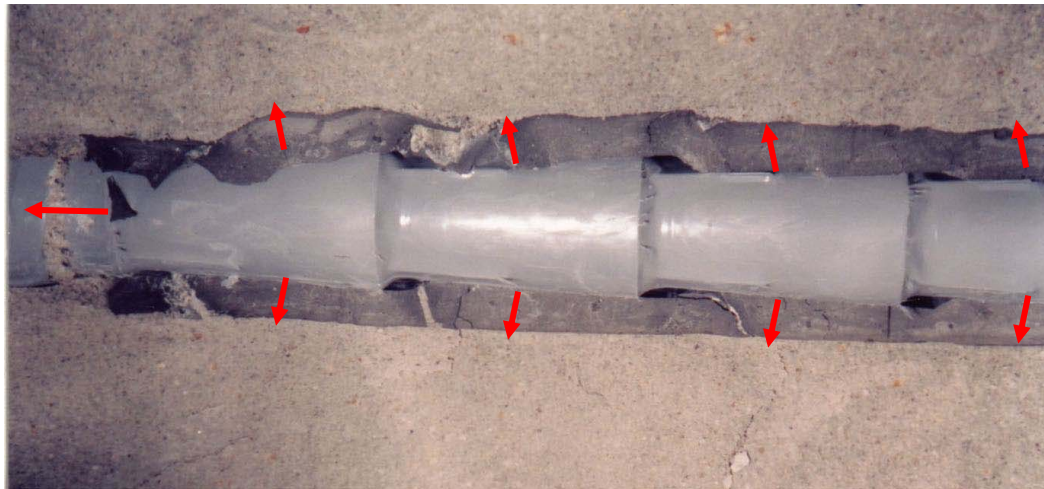


写真 1.4.2 拘束具作動状況（超過荷重時）

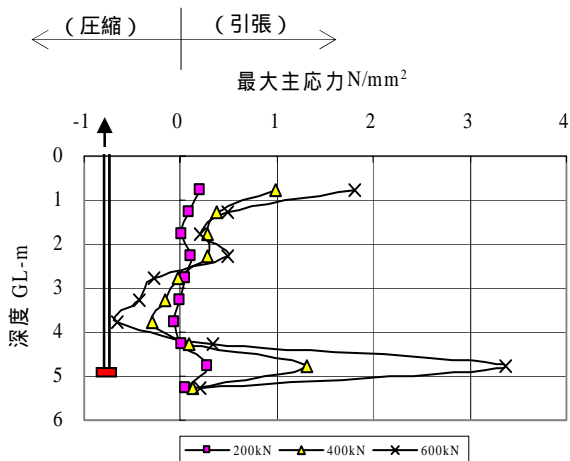


図 1.4.1 摩擦（先端圧縮）型：荷重別応力図
（摩擦 圧縮型アンカー）

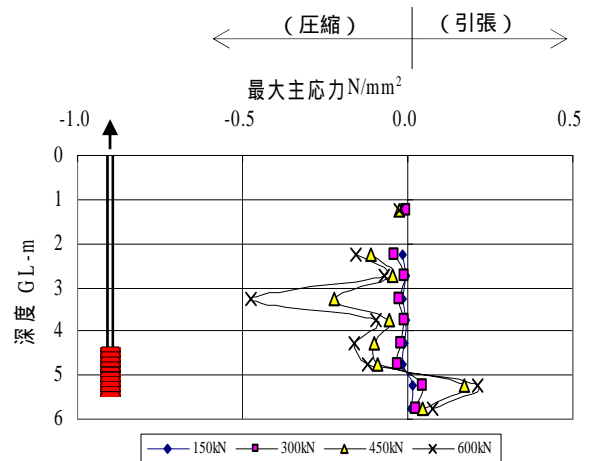


図 1.4.2 くさび型：荷重別応力図
（くさび型アンカー）